

第7回 東日本大震災支援全国ネットワーク 常任世話団体及びチーム長合同会議 議事録

1. 開催年月日：2011年8月4日（木）

2. 開催場所：中央共同募金会 会議室

3. 出席者：総数6名（事務局を除く）

◇ 出席代表世話人（1名）

栗田暢之 NPO法人 レスキューストックヤード

◇ 出席常任世話団体（2名）

尾崎靖宏 日本生活協同組合連合会

阿部陽一郎 社会福祉法人 中央共同募金会（兼 資金チーム）

◇ 出席チーム（3名）

池座剛 NPO法人 自立生活支援センター・もやい（情報チーム）

丹羽雅代 東日本大震災女性支援ネットワーク（ジェンダー・多様性チーム）

浅野幸子 全国地域婦人団体連絡協議会（ジェンダー・多様性チーム）

◆ 欠席常任世話団体（10団体）

東京災害ボランティアネットワーク

NPO法人 国際協力NGOセンター

認定NPO法人 日本NPOセンター

NPO法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会

公益財団法人 日本財団

公益社団法人 日本青年会議所

日本赤十字社

特定公益増進法人 財団法人 日本YMCA同盟

「広がれボランティアの輪」連絡会議

NPO法人 NPO事業サポートセンター

4. 議事

【議題1】報告事項

情報チーム

ウェブサイトのリニューアルを8月24日に予定している。緑を貴重としたデザインで、コンテンツは再整理している。支援状況マップのベース地図をGoogle Mapに移行する。

来週8日にメールマガジンをリリースする。被災地の基礎的な情報、活動状況などのまとめ、団体の紹介などをまとめたコラムなどを紹介。また、アクセントに支援いただいているデータベースシステム（RANS）を紹介する。現場の意見を踏まえて、改良をしていきたい。記録を残すためにもしっかりやっていきたい。

制度チーム

連携室から子どもの一時的避難（疎開）の状況を知りたいとのリクエストがきている。

広報チーム

J-COMの企画番組「みんなの力」（週3回、関東圏30分番組）、初回はJCNの紹介。ADRA Japanを収録した。収録は毎週木曜日。

国際チーム

7月28日にドナー会議を開催した。集まったのは11団体。会議の目的、助成の重複を避けることなどを話し合った。海外ドナーはハードルが高く、ドナーごとに申請書が異なる。共通の書式を検討する。JPF、日本財団の申請書は共通化できるところはまとめるなどが決まった。次回は9月1日。

資金チーム

ニューヨークでファウンダと意見交換した。先方は、ダイレクトに助成できる団体のリストを望んでいる。JCNが仲介的な機能を持るとよい。次の助成は10月以降（監査の都合）、それにあわせて準備していけるとよい。詳細は改めて報告したい。

ユースチーム

サイトのリニューアルを進めている。大学等との動き、アンケート調査を実施。大学によってはかなり大規模に動き出している。そういった動きを抑えていきたい。

ジェンダー・多様性チーム

ウェブサイトに様々な窓口を紹介するページを掲載。メーリングリストで難病グループから情報提供の依頼があり対応した。助成支援ネットワークの動きを紹介。ほかのチームと連携して動いていきたい。障害者支援ネットワークから情報提供があったので掲載している。外国人支援、掲載できていない。

事務局

赤い羽根サポート募金 299 万の助成が確定。パナソニック社員基金、400 万支援確定。

これまで使っていた JC 会館 4 階の会議室は使えなくなる。改装と理事交代などの理由。今後は共同募金の会議室を利用する。

岡坂・栗田・田尻・池座、津賀、橋本などで事務局会議を行っている。常任世話団体の会議時間が短いので、少し長い時間をとって話し合う機会もつくりていきたい。

【議題 2】 検討事項

事項 1. 県外避難支援の状況把握について

県外避難者への支援状況をまとめているところがない。JCN のネットワークで集約していくことができないか。まず、地域チームの聞き取りやウェブ検索などで、簡単にまとめている。ある程度情報が集まれば、構成団体、活動内容など分類するなど整理したい。できれば、ウェブ（JCN）に公開して、随時更新していきたい。県外避難者は全国で 4 万人とも言われている。どんな意思を持っているのか、得られる支援のことを伝えなければならない。なにも持たず避難されてくる方がたくさんいる。阪神大震災でもクローズアップされた。まずは誰がどこで活動しているかを抑えたい。

事項 2. 被災地の中間支援について

被災 3 県には連携復興センターができています。連携復興センターを集めてみな

いかという話を詰めている段階。3県それぞれの課題、ボランティアの減少、JCNとして連携に本領発揮することを目的にしている。

事項3. その他

- 9.11 はひとつの節目になる。海外向けにメッセージを出すために、国際チームをお願いしたい。国内向けは事務局が素案を作成する。
- JCN の設立から半年近くとなる。9月30日にこれからの考える場を設けたい。実施計画案を事務局で作成する。

5. その他

次回の常任世話団体会の日程は、9月第3週を目安に調整する。